



新十津川望郷会

会報

第十八号

出会いを求めて
「やあ、しばらくだね」



新十津川望郷会長

高 棹 政 義

降り積もった雪もいつしか消え、
緑豊かな夏を迎え、多忙な農作業
の季節となりました。天候に恵ま
れ、豊作の秋になる事を祈ります。

さて、望郷会も会員のご協力を
いただき、年間事業を無事終了す
ることができました。

当会の総会は、「開町記念式」に
あわせ毎年開催されますが、昨年は
近年にない多数の会員の参加をい
ただき、大変感謝いたしております。

また、宿泊される会員をはじめ
とする多くの会員が参加した「望
郷徳富の集い」も盛り上がりがあつ
て、近年にないにぎやかさがあり

ました。

この会は、心は一つにまとまっ
ていますが、居住地がちらばって
おり、活動するには、ご不便をか
けることが多々ありますが、なに
とぞご協力をお願い申し上げます。

なお、東京をはじめとする関東
地区周辺には、「関東十津川郷友会
」が設立され独立運営をされていま
す。望郷の想いを同じくし、「やあ、
しばらくだね」と会える仲間が全
国にいること、また集うことがで
きる喜びを強く感じております。

来年もまた集う機会が設定され
ますが、ぜひご出席をいただき友情
を深めていただければと思います。

最後になりますが、新十津川町
も植田満前町長に代わり、本年よ
り熊田義信新町長となります。熊
田義信新町長には、ご健康に留意
され、今まで培われてきた経験を
いかなく発揮し、益々のご活躍
と、新十津川町の発展をご祈念申
し上げ、会報によせてのごあいさ
つとさせていただきます。

開町百二十五年の時を迎えて



新十津川町長

熊 田 義 信

秀峰。ピンネシリも例年になく雪
解けが進み、裾野に広がる山々の
新緑も芽生え、水田に映える苗の
姿、まちの景色が緑色を増す爽や
かな季節となりました。望郷会員
の皆さまには、日頃より郷土新十
津川にご支援を賜り厚くお礼申し
上げます。

本年四月に行われました統一地
方選挙におきまして、町民の皆さ
まをはじめとする多くの皆さまか
らご信任を賜り、第七代町長とし
て町政を担わせていただくことに
なりました。二期八年務められた
植田満前町長から町政の舵取り役
を継承することとなりましたが、
身の引き締まる思いと同時に、課
せられた使命の大きさと重責を厳
粛に受け止めております。
さて、本町開拓の歴史がはじまっ

てから本年は百二十五年の時を数
えます。開拓の意欲に燃えた先人
の弛まぬ努力によって培われた生
活、教育を重んじる文化は、今日
まで、子々孫々に伝えられ発展し
てまいりました。そうした気概を
もとに丹精こめて造り上げた肥沃
な大地、文武兼備の精神は、我が
町のかげがえのない大きな財産と
なっております。

私は、この度の選挙において、
子どもと明日の故郷のため、「郷土
を守り、育てる」ということを訴
えてまいりました。

具体的には、①時代の変化に対
応する農業、商工業の支援に取組
み、産業間の多様な交流や連携を
進め、活力に満ちた豊かなまちづ
くり ②生命と財産を守るため、
防災体制を整えるとともに、地域
の治安を守る仕組みを充実させ、
安全・安心なまちづくり ③子ど
もたちが「未来を生き抜く力」を
身につけるための環境を充実させ、
誰もが生涯にわたって学べる学び
のまちづくり ④支えあい、安心
して子育てができ、誰もが心身と
もに健康で、幸せに暮らせる健や
かなまちづくり ⑤自然環境や資

源を大切にする取り組みを進め、暮らしやすい生活環境の整備と誰もが住みたいと思う魅力あふれる住み良いまちづくり ⑥町民の皆さまの声を受けとめ、相互理解と信頼を深めるとともに、計画的な行政運営を進め、町民の皆さまと共に手を携えて歩むまちづくりを行ってまいります。

この想いは、経験したことのない寒さのなか、原野を切り開き、郷土愛に満ち溢れ、開拓精神旺盛にして新十津川町を築いてこられた先人の意思を継承するものであります。

また、私の座右の銘は米沢藩主、上杉鷹山の「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」との言葉です。これは、私が町長として初めて職員に訓示した言葉でもあります。やればできる。できる可能性が生まれる。やらなければ何も生まれません。「できない」というのは、やらないだけなのかもしれない。当然、一生懸命に努力したとしても、できないことはあるかもしれません。ですが、できなかったことは「良い経験」「次への糧」になるものと

信じています。一番良くないことは何もしないことです。

開町百二十五年の今、人口減少、急激な少子高齢化、地域経済の停滞など課題は山積していますが、私、また町職員一同、この「為せば成る」の精神で、愛着と責任感を携えて、新十津川町を守り、更なる発展を遂げる所存でありますので、今後ともより一層のご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健勝と新十津川望郷会のご発展を心からご祈念申し上げます。つとさせていただきます。



△多くの職員に出迎えられた初登庁(5月1日)

会報によせて



新十津川町議会議長

長谷川 秀 樹

六月の風が柔らかく草花を揺らす、爽やかな初夏が北の大地に訪れました。

新十津川望郷会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じますとともに、日ごろより我がまち新十津川町への心温まるご支援とご協力を賜わっておりますこと、衷心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

北海道有数の米産地であります本町ですが、今年は春先の雪解けが早く、また、天候にも恵まれたため、農作業は順調に進んでおります。三千百ヘクタールを超える水田には徳富川の清流が湛えられ、緑の彩の深まりとともに、その美しい田園風景に心が癒される時を迎えております。今後、天候が順調に推移し、豊かな実り秋を迎え

ることができるよう願うところでございます。

さて、本年四月に行われました町議会議員選挙では、八年ぶりの選挙となりました。議員定数十一名のうち、五名の議員が初当選するなど、議員の顔ぶれも大きく変わり、開町百二十五を迎える本年にふさわしい、新しい議会のスタートが切れるものと思っております。

また、今期におきましては、広報広聴特別委員会を設置いたしました。これは、これまで議会だよりの発行を行っていましたが、議会広報特別委員会から一歩進み、今まで全議員で構成する実行委員会で行っていましたが、報告会を合わせて行うことを目的としております。今後、この特別委員会の活動を充実させ、より住民と向き合い、議会活動の周知に努めるとともに、議会の「見える化」を進めていきたいと思うところでございます。

私たちの町、新十津川町は、大自然の恵みを享受し、大地と共に生きています。『新十津川物語』の作者川村たかし先生は、新十津川の風景を見て、「この風景こそが新

十津川町の歴史である」と言われました。

百二十五年前、トック原野のうっそうと茂った原始林を一本一本切り倒し、根を起こし、燃やしなから開墾に取り組んだ先人たちの。その労苦の上に作り上げられた新十津川町は、今や広大な水田を擁する豊かな農業の町となりました。

そして、穏やかな山並みの秀峰ピンネシリは、いつも我々の営みを見守ってくれています。厳しい作業の間に幾度となく見上げてきたその山容は、遠くふる里を離れた人たちにとっても心の支えでもあり、故郷の象徴でもあります。

私も、この豊かな美しい風景を守り、そして、その歴史を語り続けていかなければならないと思うところがございます。そのためには、しっかりと大地に根を張り、立ちはだかる困難を乗り越え、生き抜くため、夢をもち、その夢の実現に向けて少しでも前に歩みを進めようと思えます。どうぞ今後におきましてもふる里新十津川町に対し、心を寄せていただき、お力添えをいただければと思うところでございます。

望郷会の皆様におかれましては、これからも更なるご指導、ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げますとともに、新十津川望郷会が益々発展されますことと、会員の皆様の更なるご健勝、ご活躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。



△秀峰ピンネシリを望みながら行う田植えの風景(弥生区)

はじめまして!

「とつかわ こめぞー」です

新十津川町観光協会では、観光振興やさらなるイメージアップを図るため、新たな新十津川町観光PRキャラクターを募集し、「とつかわ こめぞー」が誕生しました。

キャラクターの募集にあたっては、町内外から185点の作品応募があり、その中から大阪市在住の谷口さんの作品が選ばれ、平成27年1月25日に開催された「第24回しんとつかわ雪まつり」の開会式で初披露されました。

今後は、「こめぞー」がさまざまところで新十津川をPRしていきます。 応援をよろしくお願いいたします!

☆☆☆ プロフィール ☆☆☆

お米の妖精

性別：男

好物：文武両道でまじめ

好物：ごはんとお酒

夢：3D化



新十津川町トピックス

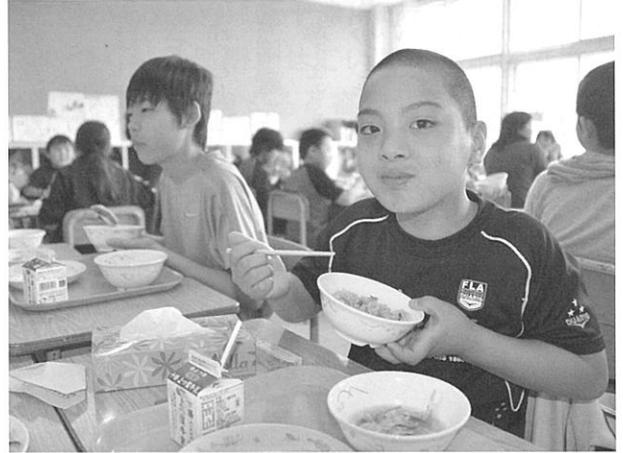
～まちの出来事～

平成26年5月22日

十津川村からタケノコの贈り物

「新十津川町の子どもたちに食べてもらいたい」と十津川村在住の東正直さんがプレゼントしてくれたタケノコを使った『中華風たけのこごはん』が町内小中学校の給食で提供されました。

十津川村と新十津川町の絆をかみしめながら、たけのこごはんを味わっていました。



平成26年6月12日

ヒノキ材の本棚が登場

新十津川小学校と中学校の各教室に、母村・奈良県十津川村産のヒノキ材を使用した本棚が登場しました。

図書委員の児童たちは「いいにおい!」と喜び、さっそく新しい本棚に学級文庫を並べていました。

平成26年6月25日

青年海外協力隊でガボンへ

平成26年度JICAボランティアで青年海外協力隊としてアフリカのガボン共和国に派遣される笹木育美さん(新十津川町出身・写真中央)が出発前のあいさつに訪れました。

ガボン共和国では保健省に派属され、母子保健、乳幼児に対する保健指導や感染症対策などを中心に2年間活動します。



平成26年8月20日

世界最古のマイルカ類化石に認定

50年以上前に本町で発見され、北海道開拓記念館で所蔵されているイルカの頭蓋化石がマイルカ科の中では、世界最古(約850~1300万年前)のものであることが判明しました。



平成26年9月18日、19日 十津川村の生徒と交流

十津川村中学校3年生が修学旅行で本町を訪れ、新十津川中学校で交流会が行われました。両校の代表生徒がそれぞれの学校を紹介し、校歌を披露した後、全員で合唱、きれいなハーモニーを体育館に響かせました。

平成26年11月26日 日本ハムファイターズ 金子誠選手、 岡大海選手が町を訪問

新十津川町応援大使の金子誠選手と岡大海選手が来町、小学校や役場を訪れた後、トークショーを開催、多くの町民と楽しいひとときを過ごしました。



平成27年1月14日 新十津川ホワイトベアーズから 日本ハムファイターズジュニアへ

新十津川ホワイトベアーズの明田圭喬くん(新十津川小学校6年)が北海道日本ハムファイターズジュニアチームの一員として、NPB12球団ジュニアトーナメントE NEOS CUP 2014(福岡県開催)に出場、決勝戦では3番センターでスタメン出場、ホームランを放つなど大活躍しました。

平成27年2月19日 新十津川農業高校 北海道学校実践表彰受賞

生徒が中心となり行う農産加工品の製造・販売など、農業高校の特色を生かし体験を重視した教育活動が、生徒の学習意欲向上やコミュニケーション能力の育成に大きな成果を上げているとして、新十津川農業高校が「北海道教育実践表彰」(学校表彰)を受賞しました。



◆新しい町民の代表が決まる◆

平成27年4月12日、町長選挙及び町議会議員選挙が執行されました。

町長選挙では、前教育長の熊田義信さんが無投票当選となりました。

町議会選挙では、議員定数11名に対し12名が立候補し、現職6名、新人5名の当選が決まり、5月7日の臨時議会にて町議会議長には、長谷川秀樹さん（再任）、副議長には、笹木正文さん（新任）に決まりました。

また、副町長には、前産業振興課長の小林透さん、教育長には、前総務課主幹の久保田純史さんが選任されました。

◆ 町理事者 ◆



町長 熊田 義信



副町長 小林 透



教育長 久保田純史

◆ 町議会議員 ◆



議長 長谷川秀樹



副議長 笹木 正文



議員 小玉 博崇



議員 長名 實



議員 青田 良一



議員 西内 陽美



議員 安中 経人



議員 杉本 初美



議員 白石 昇



議員 進藤久美子



議員 鈴井 康裕



新十津川町では、町内で新築住宅、または、中古住宅を取得した方に助成金を交付しています。

また、住宅を取得した方に中学生以下のお子さんがいる場合、町内のお店で使える「ふれあい商品券」を交付しています。

望郷会員の皆さまのまわりに新十津川町に住宅取得を考えている方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

ようこそ新十津川

定住促進制度のご案内

住宅取得で助成金を交付しています！

住宅の種類	区分		助成金額	商品券交付
新築住宅	転入者	町内業者施工	200万円	中学生以下のお子さん1人につき15万円分の「ふれあい商品券」を交付します
		町外業者施工	170万円	
	町内者	町内業者施工	150万円	
		町外業者施工	100万円	
中古住宅	町外から転入し住宅を取得		100万円	
	町内者が住宅を取得		70万円	

☆☆☆ 事業期間：平成26年4月1日から平成29年3月31日まで ☆☆☆

定住自立圏 形成協定を 締結しました。

市・町の枠を超えた連携を

中空知定住自立圏形成協定 合同調印

砂川市 芦別市 赤平市 歌志内市 奈井江町 上砂川町 浦臼町 新十津川町



平成26年7月15日に、中空知5市5町の市町村と議長の出席により中空知定住自立圏形成協定の合同調印式を行い、圏域全体の活性化を図ることを目的に、お互い連携・協力する「中空知定住自立圏」が誕生しました。

今後は、この協定に基づき、医療・福祉・教育・産業振興・防災・地域公共交通などの各分野の代表者などで構成される「中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催し、定住自立圏の将来像や個々の具体的な取り組みについて検討を進めていきます。

○定住自立圏構想とは

人口減少や少子高齢化、都市部への人口流出により、各市町が十分な生活機能の確保や地域住民の利便性向上などを図っていくことが困難となっている中、人々が地方に定住するために必要な機能の確保に取り組むのが「定住自立圏構想」です。

これからは、すべての市町にフルセットの都市機能を整備することは困難であり、市町を超えた広域的な取り組みや、行政と民間の連携を通じて圏域全体の活性化を図ることを目指します。

全国大会・全道大会へ

羽ばたく！ 新十津川っ子！！

平成26年7月19日～29日 新十津川ホワイトベアーズ

高円宮賜杯第34回全日本学童軟式野球大会
北海道大会（苫小牧市開催）でベスト4、
ホクレン旗争奪第32回北海道少年軟式野球選
手権大会（札幌市開催）で準優勝という好成
績を収めました。



平成26年7月29日、30日、8月3日 新十津川尚武会

新十津川尚武会が東京都の日本武道館で行われた
全日本道場少年剣道大会（全日本道場連盟主催）に
出場しました。

また、8月3日に札幌市で行われた第63回北海道
少年剣道練成大会では見事優勝しました。



平成26年8月1日～3日、11月1日～3日 新十津川中学校卓球部（女子団体、女子個人）

新十津川中学校卓球部が女子団体と女子個人で中体連全道大会（恵
庭市開催）に出場しました。

そのうち、後木玲奈さん（女子個
人）は全道第5位という成績を収め、
2年連続全国大会（徳島県開催）に
出場しました。

また、11月に開催された全日本卓
球選手権大会（滋賀県開催）ではベ
スト32という成績を収めました。



平成26年8月1日～2日 新十津川中学校剣道部

新十津川中学校剣道部の清野麟太郎さん（男子個人）
が中体連全道大会（森町開催）に出場しました。



平成26年8月22日

新十津川中学校吹奏部

新十津川中学校吹奏部が空知地区吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、平成25年に続き2年連続で北海道吹奏楽コンクールへの出場を決めました。

平成25年はB編成(35人以下1曲)でしたが、平成26年はA編成(50人以下2曲)での全道大会出場になります。



平成26年8月26日

新十津川農業高校(農業クラブ)

新十津川農業高校が、北北海道学校農業クラブ連盟技術競技大会「農業鑑定技術(生活科学)」で最優秀賞、優秀賞を収め沖縄県で開催される全国大会に出場を決めました。

また、意見発表大会「食料・生産」「文化・生活」では全道大会で優秀賞を収めました。



平成26年10月30日

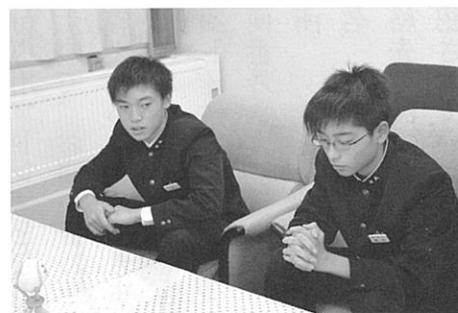
新十津川農業高校(加工専門分会)

いわみざわパン甲子園本選で敢闘賞、北海道産業教育フェア意見発表会で努力賞を受賞しました。

平成27年2月9日

新十津川中学校サッカー部

新十津川中学校サッカー部が、1月に滝川市で開催された全道フットサル選手権2015U-14の部、北空知地区予選で優勝し、2月28日、3月1日に開催された全道大会への出場を決めました。



平成27年2月12日

子どもかるた(中学生の部)

弥生区の政所美遥さん、村上睦さん、伊藤安希さんが、第18回北海道子どもかるた大会空知地区予選で第3位に輝き、2月22日札幌で行われた全道大会への出場を決めました。

平成26年8月22日

新十津川尚武会(60歳以上の部)

第63回北海道団体剣道大会(60歳以上の部)に新十津川単独チームとしては初めて出場し、見事準優勝という成績を収めました。

~大人も負けてません!~



ふるさと応援基金寄附金(ふるさと納税)受付中です!

ふるさと応援基金寄附金とは、町民や新十津川町出身者のみならず、全国で新十津川町の取り組みに共感し、ご賛同くださる方々から「ふるさとのために何かしたい」「新十津川町を応援したい」という思いを寄附金として募り、個性豊かな活力あるまちづくりに使用させていただく制度です。

皆さんが応援したいと思う地方公共団体(都道府県・市町村)へ寄附すると寄附金額から一定額を差し引いた額が、今お住まいの地方公共団体の住民税額や所得税額から控除されます。このためふるさとに納税したのと同じことになるので、「ふるさと納税」とも呼ばれています。

ふるさと応援基金への寄附を通じて、新十津川町の応援をよろしくお願いします。

○寄附金の額

五千元を基本に何口でもお受けします。(五千元未満の金額でもお受けします。)

一万円以上三万円未満の寄附で新十津川町の特産品を一品、三万円以上の寄附で特産品を三品お届けします。

※特産品のお届けは新十津川町外にお住まいの方に限りません。



○寄附の手続き

寄附は、専用の払い込み用紙で払い込みをしていただくこととされています。

専用の払込用紙がついたパンフレットをお送りしますので、次のいずれかの方法でご連絡ください。

※最寄の郵便局から払込ください。

【申込先】
企画調整グループ

【申し込み方法】

(1)電話:

〇一二五-七六一-二一三一

(2)FAX:

〇一二五-七六一-二七八五

(3)メール: furusato-toku@town.shintotsukawa.lg.jp

※受付専用アドレスとなっており、お答えすることはできません。電話でのお申し込みの場合は、パンフレット送付先の

①郵便番号

②住所

③氏名

④連絡先電話番号

を確認させていただきます。

FAX、メールでのお申し込みの場合は、上記①～④を記入の上、送信してください。

【電話申込受付時間】

月～金 八時四十五分～

十七時三十分(祝日を除く)

○寄附金の使途

払込まれた方に指定された次のいずれかの事業に使用します。

①自然環境の保全及び町並み景観の向上に資する事業

②子どもの健全育成に資する事業

③終着駅周辺整備に資する事業

④観光事業の振興に資する事業

○確定申告により税金控除

所得税、個人住民税の寄附金控除を受けるためには確定申告が必要です。町から送付する受領証明書(領収書)を添付して、寄附をした翌年の申告期間内に確定申告をしてください。

○「」注意ください

新十津川町ふるさと応援寄附金をかたった寄附の強要など、不当な請求が予想されます。詐欺には十分にご注意ください。

新十津川望郷会が助成している支部の紹介

～お住まいの地域で望郷の仲間とともに交流を深めませんか～

札幌新十津川郷友会

札幌

昭和6年5月発足(会員数39名)

会長 和平 康伸

事務局長 岡田 功

札幌には、中央会や、花月会など出身地別に組織されている札幌新十津川郷友会と共励援助の団体もございます。

- ・札幌近郊に居住する新十津川町出身者並びに縁故者により組織

新十津川望郷会砂川支部

砂川

昭和35年10月発足(会員数23名)

※休止期間有、その後昭和54年6月再発足

支部長 村上 新一

副支部長 上杉 一正、永澤 義人

- ・砂川近郊に居住する新十津川町出身者並びに縁故者により組織

新十津川望郷会深川支部

深川

昭和57年7月発足(会員数19名)

支部長 杉村 修

副支部長 伊藤 邦雄

- ・深川近郊に居住する新十津川出身者並びに縁故者により組織

徳富会

関東

平成22年発足(会員数59名)

支部長 松倉 幹男

副支部長 籾内 悟

- ・関東近郊に居住する新十津川町出身者並びに縁故者により組織

新十津川望郷会滝川支部

滝川

平成24年7月発足(会員数39名)

支部長 丸山 健

副支部長 西井 勝明

- ・滝川近郊に居住する新十津川町出身者並びに縁故者により組織

※各支部の活動に興味のある方は、新十津川望郷会事務局までご連絡ください。

各支部の活動内容や、連絡先等をお知らせします。

《名刺をつくりませんか?》

望郷会PR事業の一環として、会員の勧誘や日頃のお仕事で新十津川町をPRしていただくため、町の風景や建物を入れたオリジナル台紙を活用し、望郷会員の希望者の方に名刺をお作りします。

名刺は、1種類100枚単位とし、会の予算で作成しますので、ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

なお、予算に限りがございますので、ご希望に添えない場合はご了承願います。

申込先 新十津川町役場 総務課総務グループ

新十津川町望郷会事務局まで

電話 0125-76-2131

FAX 0125-76-2785



退任のごあいさつ



前新十津川町長
植田 満

新十津川望郷会の皆さまには、
ますますご健勝のこととお喜び
申し上げます。

さて私は、四月三十日の任期
満了によって町長の職を退任い
たしました。

この間、新十津川望郷会の皆
さまには、ご理解とご支援をい
ただきながら、職責を果たすこ
とができたこと衷心より感謝申し
上げます。

今後は、一町民として新十津
川町の発展を見守ってまいりた
いと思っております。

結びに、歴史と伝統のあるま
ち新十津川町の限らない発展と
望郷会員皆さまのご健勝、ご多
幸を御祈念申し上げ、退任のご
あいさつとさせていただきます。
ありがとうございます。

新十津川望郷会役員

任期期間 平成26年6月20日～平成28年6月19日

(敬称略)

役職名	氏名	住 所	電話番号	備 考
顧問	熊田 義信			町長
	長谷川 秀樹			町議会議長
会長	高 棹 政 義			
副会長	谷 口 次 雄			道東
	中 川 昭 五			道南
	川 井 正 修			道北
	中 井 唯 夫			道央
理事	和 平 康 伸			札幌郷友会 会長
	杉 村 修			深川支部長
	玉 堀 光 夫			
	西 井 勝 明			滝川支部副支部長
	中 川 芳 継			花月会 会長
監事	松 倉 幹 男			徳富会 会長
	岡 田 功			札幌郷友会 事務局長
事務局次長	村 上 新 一			砂川支部長
事務局次長	小 林 透			副町長
事務局	事務局長 久保田 純 史			教育長
	寺 田 佳 正			総務課長
	媚 山 孝 裕			総務課主幹

会員の皆さまへ（お願い）

新規望郷会員のご入会を募るため、同窓会などの集まりが開催されるときは、事務局まで、ご連絡をお願い申し上げます。（望郷会新規会員募集のチラシを送付させていただきます。）

編集後記

新十津川望郷会報第十八号
を発刊するにあたり、役員並
びに会員の皆さまには様々な
ご協力を賜り、心からお礼申
し上げます。次号の発刊に際
しては、会員の皆さまから多
くのご投稿をお待ちしており
ます。
（投稿される方には原稿用紙
を送付させていただきますの
で、事務局までお電話等でご
連絡くださいますようお願い
申し上げます。）

新十津川望郷協会会報

第十八号

平成二十七年六月二十日発行

発行 新十津川望郷会

〒〇七三一一〇三

新十津川町字中央

三〇一番地一

新十津川町役場内

事務局長(新十津川町副町長)

小 林 透

☎〇一二五―七六一―二二三一

印刷 広小路印刷株式会社